

「つくば座・もりや座」をつくろう！

陸域観測技術衛星 2号「だいち2号」©JAXA

「つくば座・もりや座」は、人工衛星を使って描く「だいちの星座」です。
手作りの電波反射器を町の中の広くて平らな場所に置き、人工衛星で撮像します。
「だいちの星座」は、レーダーを使って宇宙から見る事が出来ます。



手作り電波反射器

「つくば座・もりや座」完成までの日程

9

完成した「つくば座・もりや座」は、参加者が配置した電波反射器によって町に描かれたオリジナルの「だいちの星座」です。参加受付を行った団体・個人にはつくば座・もりや座の撮像写真ポストカードが配布されます。

7

参加者は2015年3月7日、正午に合わせて電波反射器を組み立て、運動場や公園などの広い場所に配置します。スマートフォンの機能や方位磁針を使い、電波反射器の方位を調節します。

5

電波反射器の作り方説明に加え、金沢美術工芸大学らの指導の下で参加者が実際につくば座・もりや座に使用する電波反射器をアークスタジオにて制作します。

3

つくば座・もりや座を制作する為に使用する電波反射器の作り方を、道具と材料を使い詳しく説明します。

1

守谷市のアークスタジオにて、プログラムの参加受付を開始します。

START

2014年12月20日
～2015年1月26日
つくば座・もりや座
参加受付

2015年2月7日
つくば市レクチャー

2015年2月7日
電波反射器製作
デモンストレーション

2015年2月8日
守谷市レクチャー

2015年2月8日
電波反射器製作
ワークショップ

2015年2月21日
つくば市を撮像

2015年3月7日
守谷市を撮像

つくば座・もりや座
画像作成

つくば座・もりや座
完成

作品発表

つくば座・もりや座の活動成果は、2015年にアークスタジオにてドキュメント展として発表されます。

JAXAによって撮像された画像を元に、金沢美術工芸大学は町の変化や参加者が配置した電波反射器を抽出し、つくば座・もりや座を作成します。

参加者は2015年2月21日、正午に合わせて電波反射器を組み立て、運動場や公園などの広い場所に配置します。スマートフォンの機能や方位磁針を使い、電波反射器の方位を調節します。

アークスタジオにて行われる2回目のレクチャーでは、1回目のレクチャー内容に加え、鈴木浩之准教授と大木真人開発員による「人工衛星を利用して絵を描く活動について」を、より詳しく話題を掘り下げてお話しします。

筑波宇宙センターにて行われる1回目のレクチャーでは、金沢美術工芸大学 鈴木浩之准教授とJAXA地球観測研究センター 大木真人開発員が『宇宙と芸術』『陸域観測技術衛星2号「だいち2号」』『つくば座・もりや座の作り方』についてお話しします。

10

8

6

4

2